日本図書館情報学会会報

No. 194　　2023 年 6 月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383　神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学　金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
(株)ガリレオ　学会業務情報化センター内　日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp　　学会ウェブページ：http://www.jslis.jp/
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店　口座番号＝当座0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

定例（通信）総会の実施にあたって

会長　岸田 和明

2023 年度の定例(通信)総会を実施いたします。議案は四つで，いずれも，本学会の運営における重要議案ばかりです。慎重なご審議をどうぞよろしくお願い申し上げます。そして，ぜひとも，ご投票をお願いいたします。

第一号議案は 2022 年度事業報告・事業監査報告で，第二号議案はそれに対応する決算報告・会計監査報告です。2021 年度からの繰越金は約 955 万円でしたが，2022 年度から 2023 年度へは約 900 万円と減りました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で学会活動が制限されたために「余ったお金」を，やや使ったことになります。その一因は，2022 年度事業として，「コロナ禍対策事業」および『図書館学会年報』の遡及的電子化」を継続したためです。余ったお金とはいえ，貴重な学会費を財源としていますので，その使途には，慎重な検討が必要です。繰越金の減額は，その結果とお考え下さい。なお，以上の２つの事業計画に関しては，昨年度の通信総会にて，お認めいただいています。

2022 年度の予算と比較して，大幅に支出超過している項目はありません。学会誌発行費はやや超過気味ですが，もちろん，これは掲載件数やページ数に依存するものであり，超過は問題ない（むしろ望ましい）と考えます。予算計画の段階で予期できなかった支出は，予備費から出していますが，これも 10 万円以内に収まっています。一方，ウェブ会議の普及のため，各種会議での交通費の支出が減ったせいか，運営事業費の各項目は，ほぼ支出減となりました。

以上の 2022 年度の事業および会計に関しての監事の方々からのご意見につきましては，第四号議案の後に掲載しております。なお，2021 年度から 2022 年度にかけて，会員数が微増しています。このところの減少傾向が底を打ったのかどうかは分かりませんし，2022 年度事業との因果関係も当然，不明ですが，いちおうご報告いたします。

第三号議案と第四号議案は，2023 年度の事業計画案とそれを実施するための予算案となります。第三号議案に関しては，基本的には，2022 年度での事業計画から大きな変化はありません。理事会では

「電子化」を重要な事業として位置づけており，『日本図書館学会年報』掲載論文の遡及的な電子化を2023年度も継続します。また，新たに，春の研究集会および秋の研究大会についての「過去の研究大会等発表論文集の電子化」を事業化します。会員の方からご意見をいただいて，発表論文集の総目次を2022年度に作成および公開しましたが，2023 年度には，その一部の全文の電子化および公開を進めることを計画しています。全文の公開については，一種の「オプトアウト」方式を使う案があります。この計画が通信総会で認められた場合，詳細をいずれ会報でご連絡しますので，2015～19 年度に発表された会員の方々は，ご注意ください。

一方，大きな変化は，「コロナ禍対策事業費」を 2023 年度に廃止することです。ただし，「学生会員会費補助」だけは継続することとし，新規の項目として立て直しました。また，「出版事業に関する検討ワーキンググループ」を設置します。ここ最近，学会としては『図書館情報学事典』の出版に注力してきたわけですが，それも終わりますので，新たな出版事業に関して，2023 年度に検討を進めます。

以上，定例(通信)総会を実施するにあたり，会長として議案の骨子と背景を記しました。会員のみなさまには，それぞれの議案をご精査いただきますよう，お願い申し上げます。また，本学会の運営に対して，忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわれれば幸いに存じます。

2023年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 岸田 和明

2023 年度定例（通信）総会として，以下の議案の可否につきまして，電子投票にて投票をお願いいたします（事前に郵送投票の申込みをされた方は，別送する往復はがきでの郵送投票も可能です）。投票方法の詳細については，同封の案内をご覧ください。なお，総会は正会員によって構成されるため，学生会員，団体会員，賛助会員の皆様には，案内は同封しておりません。

投票期日： 2023 年 6 月 30 日(金)（郵送は当日消印有効，電子投票は 23:59 まで有効）
議 題： 第一号議案 2022 年度事業報告・事業監査報告
第二号議案 2022 年度決算報告・会計監査報告
第三号議案 2023 年度事業計画案
第四号議案 2023 年度予算案

<u>第一号議案　2022 年度事業報告・事業監査報告</u>
2022 年度事業報告

1. 運営事業

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を 2022 年 6 月 30 日として定例(通信)総会を実施し，有権者数 602 に対し，投票総数 230，有効投票数 230 であった。投票の結果，全議案は成立した。投票は電子投票によった。

(2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため，下記のように開催した。

1) 理事会

第 1 回 2022 年 5 月 21 日（土）	オンライン開催
第 2 回 2022 年 9 月 25 日（日）	オンライン開催

2) 常任理事会

第 1 回 2022 年 4 月 16 日（土）	慶應義塾大学（東京都港区）
第 2 回 2022 年 7 月 10 日（日）	オンライン開催
第 3 回 2022 年 9 月 11 日（日）	オンライン開催
第 4 回 2022 年 11 月 26 日（土）	オンライン開催
第 5 回 2023 年 1 月 28 日（土）	オンライン開催
臨時　2023 年 3 月 22 日（水）	慶應義塾大学（東京都港区）

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として，2022 年 10 月 30 日（日）に東北学院大学土樋キャンパス（宮城県仙台市）を会場として会員集会を開催した。

(4) 規程・内規等の改正・整備

「事務局規程」,「総務委員会内規」,「常任理事会運営内規」,「理事会運営内規」を改正した。また「研究と発表における倫理規程」を発行した。

(5) 委員会の開催

下記の委員会日程の他，各委員会ともにメールによる審議・協議を随時行った。

1) 学会賞選考委員会

第 1 回 2022 年 7 月 22 日（金）	オンライン開催
第 2 回 2022 年 7 月 23 日（土）	オンライン開催
第 3 回 2022 年 8 月 27 日（土）	オンライン開催

2) 編集委員会

第 1 回 2023 年 2 月 18 日（土）	オンライン開催

3) 研究委員会

第 1 回 2022 年 5 月 15 日（日）	オンライン開催
第 2 回 2022 年 12 月 10 日（土）	オンライン開催

4) 総務委員会

第 1 回 2022 年 7 月 24 日（日）	オンライン開催

5)『図書館情報学事典』編集委員会

第 1 回 2022 年 5 月 29 日（日）	オンライン開催

6) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ

開催なし。

(6) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.188（2022 年 4 月），No.189（同年 6 月），No.190（同年 9 月），No.191（2023 年 2 月），No.192（2023 年 3 月，臨時号）を発行した（PDF 版メール配信および希望する会員への郵送，ならびに SOLTI への搭載）。

(7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

大学図書館関連の臨時シンポジウムを開催したため，本計画におけるシンポジウムの開催を見送った。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新（会報・メールマガジンの掲載を含む），メールマガジンの発行などを進めた。

(9) 事務局業務の一部委託

会員管理，会費管理，発送業務等，事務局業務の一部ならびに役員選挙の電子投票システムを株式会社ガリレオに委託した。また定例（通信）総会の電子投票システム，さらに，J-STAGE への会員登録・修正（削除）業務を株式会社ガリレオに委託した。

(10) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営，事業，会員サービスの向上等に関して，その功績が顕著であると認められる者の検討を行い，以下の 1 名に，感謝状を贈呈した。

・ 伊藤民雄（実践女子大学）

(11) コロナ禍対策事業

全学生会員（68 名）に対して会費（全額）を補助した。また，会員からの申請に基づき，5 名の会員（発表者 2 名，聴講のみ 3 名）に対して，2022 年度春季研究集会および第 70 回研究大会（東北学院大学）参加に関わる旅費の一部を補助した（トラベルサポート）。

(12) 役員選挙の実施

2023-2025 年度の役員選出のための選挙を実施した。役員選挙に関する報告書を学会ウェブサイト上で公開した。

(13) 事務局保管文書等の整理

旧事務局（白百合女子大学今井研究室）に保管されていた文書等について，「学会刊行物，書類保存年限マニュアル」に基づいて内容を確認し，原本保存が必要と判断した資料については外部倉庫へ移管した。その他の資料については，マニュアルに基づいて，一部は現事務局で保管し，他の資料については廃棄した。

(14) 研究集会発表論文集の総目次作成

過年度の研究集会（春季研究集会および研究大会）の発表論文集の総目次を電子化（MS Excel ファイル）し，学会ホームページ上で公開した。

2. 研究促進事業

(1) 第 70 回研究大会の開催

第 70 回日本図書館情報学会研究大会を 2022 年 10 月 29 日（土），30 日（日）に東北学院大学土樋キャンパス（宮城県仙台市）にて開催した。研究発表は 18 件，ポスター発表 4 件で，参加者 107 名であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第 70 回研究大会 2 日目午後に,「AI 時代の学びと読書－学校教育における図書館の役割を探る－」のテーマで一般公開によるシンポジウムを開催した。参加者は 76 名であった。

(3) 2022 年度春季研究集会の開催

2022 年度春季研究集会を 2022 年 6 月 4 日（土）に鶴見大学（神奈川県横浜市）にて開催した。研究発表は 18 件で参加者は 112 名であった。

(4) 研究助成の募集・交付

・研究助成の募集を行い，審議の結果，以下の 2 件に対して研究助成を行った。

小竹諒（宮城学院女子大学）「改良型シーライ・コンテンツ・モデルを用いた私立高等学校図書館 Web サイトの評価」

土屋深優（筑波大学大学院）「ロンドンの公共図書館における社会的包摂への取り組みー運営主体と運営方針に着目してー」

・2022 年度に限り実施したグループ研究を対象とした研究助成（1 件 90 万円上限）については審査の結果，助成者なしとなった。

・2020 年度に研究助成を交付した者については，研究助成の要件を満たしているかどうかを調査し必要に応じて対応した。

(5) 研究発表，研究交流促進のための助成

例年実施している研究発表促進のための交通費一部補助は,「コロナ禍対策事業」(1.運営事業の(11)を参照）として実施した。

(6) オンライン・チュートリアルセミナーの実施

2023 年 3 月 18 日（土）にオンライン・チュートリアルセミナー「学校図書館研究への新しい入り方」を開催した。参加者は 40 名であった。

3. 刊行事業

(1)『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 68 巻第 2 号（2022 年 6 月），同 3 号（同年 9 月），同 4 号（同年 12 月），第 69 巻第 1 号（2023 年 3 月）を発行した。

(2) J-STAGE による『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について，J-STAGE を通じて提供した。『日本図書館情報学会誌』（1999 年～2020 年）および『図書館学会年報』（1986 年～1998 年）のオープンアクセスでの提供を行なった。

(3) 『図書館情報学事典』の編集

2022 年 8 月末時点で，全 288 項目の入稿がほぼ完了した。9 月に丸善出版から執筆者に初校を送付し，2023 年 1 月に校了した。その後，索引について検討チームで作業を進めた。

(4) 『図書館学会年報』の遡及的電子化

『図書館学会年報』（1970 年～1985 年）の電子化およびオープンアクセスでの提供を行った。

4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき，日本図書館情報学会賞，論文賞，奨励賞の選考を行い，以下の者とその著作等に対して授与した。

1) 学会賞 和気尚美『越境を経験する：デンマーク公共図書館と移民サービス』松籟社, 2022, 302p.

2） 論文賞 木村麻衣子「漢籍利用者のユースケースと研究プロセス」『日本図書館情報学会誌』第 68 巻第 1 号，2022.3，p. 22-40.

3） 奨励賞 該当者なし

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2022 年度春季研究集会，第 70 回研究大会において自己申告による若手研究者の口頭発表を対象に，研究内容・発表技法という観点から優秀発表奨励賞の選考を実施した。審査の結果，以下の通りとした。

・2022 年度春季研究集会

佐藤聡子（筑波大学大学院）「地方自治体の総合計画における図書館の記述」

・第 70 回研究大会

朱心茹（東京工業大学）「専門用語を対象とした語彙数推定テストの開発とその信頼性の評価 : 図書館情報学分野を事例として」

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう，関係機関・諸団体との連携・協力を進め，後援依頼への対応を行った。

(2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を学会のメールマガジンに掲載した。

6. その他

(1) 臨時シンポジウムの開催

2023 年 3 月 4 日（土）に臨時シンポジウム「大学図書館員の専門性とは」を日本図書館協会会館２階研修室（オンライン配信併用）にて開催した。参加者は 107 名（会場参加者 19 名，オンライン参加者 88 名）であった。

(2) 春季研究集会および研究大会発表論文集の PDF 化

2019 年度春季研究集会および研究大会発表論文集の PDF ファイルを作成した。

2022 年度　事業監査報告

事業監査の結果, 学会活動が適正に運営され, 活動計画が適切に行われていることを報告いたします。

2023 年 4 月 30 日　　監事　逸村　裕

2023 年 4 月 30 日　　監事　山本順一

第二号議案　2022 年度決算報告・会計監査報告

2022 年度　決算報告

(収入の部)　　クレジット件数，会費，全て 2023/3/31 現在

項目	予算(円)	実績(円)	達成率	前年度決算	備考
1　会費					
正会員	5,176,000	4,884,000	94.4%	4,843,000	8,000 円×郵便振替 442 件+8,000 円×クレジット決済 166 件+8,000 円×銀行振込 1 件+6,000 円×クレジット決済 1 件+3,000 円×郵便振替 2 件
学生会員	118,000	140,000	118.6%	128,000	会費補助 68 件，本年度分入金 2 件(いずれも返金済)
団体会員	615,000	615,000	100.0%	630,000	15,000 円×郵便振替 14 件+15,000 円×銀行振込 27 件
賛助会員	100,000	100,000	100.0%	100,000	50,000 円×銀行振込 1 件+50,000 円×郵便振替 1 件
入会金	-	25,000	-	14,000	1,000 円×郵便振替 14 件＋1,000 円×クレジット決済 11 件
2　広告料	190,000	135,000	71.1%	165,000	30,000 円×2 件，25,000 円×3 件
3　学会誌売上金	1,419,600	1,402,800	98.8%	1,268,400	68(1)～68(4)4 巻セット(772,800 円)，68(1)単体分(155,400 円)，68(2)単体分(163,800 円)，66(1)～66(4)4 巻セット(8,400 円)，67(1)単体分(2,100 円)，68(3)単体分(151,200 円)，68(4)単体分(149,100 円)
4　印税	212,023	209,412	98.8%	38,914	図書館情報学用語辞典第 5 版印税(200,683 円)　わかるシリーズ印税(8,729 円)
5　春季研究集会収入	33,000	39,000	118.2%	0	非会員参加費 3,000 円×13 名
6　雑収入	41	1,898	4629.3%	45,792	利息(58 円)，2021 年度交通費の訂正(出発地：自宅から勤務先へ訂正)に伴う過払い分の返金(1,840 円)
7　前年度繰越金	9,559,735	9,559,735	-	9,354,040	
合計	17,423,399	17,111,845	98.2%	16,587,146	
繰越金除く収入合計		7,552,110		7,233,106	

(支出の部)　　2023/3/31 現在

項目	予算(円)	実績(円)	進捗率	前年度決算	備考
1　運営事業費					

理事会・常任理事会 開催費	248,880	218,780	87.9%	179,240	日当（166,000 円），交通費（52,780 円）
会計監査実施費	35,040	35,040	100.0%	37,420	日当(6,000 円)，交通費(29,040 円)
委員会開催費 研究委員会	77,500	36,000	46.5%	34,000	日当（36,000 円）
編集委員会	155,080	47,294	30.5%	48,388	日当（14,000 円），非会員査読謝礼（7,000 円），通信費（2,754 円），書評用図書 4 冊（23,540 円）
学会賞選考委員会	47,200	20,000	42.4%	18,000	日当(20,000 円)
総務委員会	20,000	17,220	86.1%	9,220	日当(8,000 円)，サーバーレンタル費（5,238 円），ドメイン維持費（3,982 円）
図書館情報教育に資する事業ワーキンググループ	60,000	0	0.0%	0	支出なし
『図書館情報学事典』編集委員会	68,000	32,000	47.1%	56,000	日当（32,000 円）
選挙管理運営委員会	71,120	61,900	87.0%	-	日当(54,000 円)，交通費 7,900 円
会報発行費	10,000	1,908	19.1%	649,731	会報印刷費（No.188：120 円+No.189：320 円+No.190：120 円+No.191：120 円+No.192：80 円），通信費（No.188-189：604 円+No.190：188 円+No.191：188 円+No.192：168 円）

	事務局運営費	1,518,800	1,703,523	112.2%	1,506,862	事務局運営業務委託費（1,007,426 円），通信総会管理委託費（66,000 円），選挙管理業務委託費（305,250 円），会費クレジット決済手数料（53,781 円），文書印刷・封筒作成・発送業務委託費（49,206 円），J-STAGE 登録業務委託費（13,200 円），振込手数料（33,240 円），日当（8,000 円），通信費（76,744 円），雑費[会費返金，音声データ文字起こし費，保管学会誌余剰分破棄費，ATM 硬貨払戻手数料]（20,152 円），交通費（6,360 円），印刷費（31,900 円），アルバイト料（19,550 円），消耗品費（12,714 円）
	事務局保管文書等の整理費	70,650	32,087	45.4%	-	溶解処分費（1,650 円），外部倉庫保管費（15,312 円），外部倉庫保管に関わる入庫運送料（12,375 円），資料保管用カートン代（2,750 円）
	コロナ禍対策事業費	319,000	219,840	68.9%	306,000	学生会員補助 2,000 円×68 名，トラベルサポート費 83,840 円（5 名）
2	研究促進事業費					
	研究大会開催費	600,000	540,250	90.0%	316,707	案内発送費 100,000 円，事務局支援拠出金 200,000 円，会場借料 240,250 円
	研究大会シンポジウム開催費	110,000	110,370	100.3%	0	非会員パネリスト謝礼 10,000 円×2 名，非会員パネリスト交通費 43,640 円+23,080 円，非会員パネリスト宿泊費 13,200 円+10,450 円
	春季研究集会開催費	300,000	184,520	61.5%	253,220	発表論文集 82,617 円，学生アルバイト 80,000 円，消耗品（名札，タックラベル）16,943 円，通信費 3,750 円，振込手数料 1,210 円
	研究助成費	2,400,000	600,000	25.0%	270,000	個人研究助成 300,000 円×2 件
	研究集会発表論文集の総目次作成費	30,000	0	0.0%	-	アルバイト費用（使用せず）
3	刊行事業費					

学会誌発行費	2,023,275	2,251,743	111.3%	1,585,113	学会誌印刷費(68 巻 2 号(70 頁)436,436 円+68 巻 3 号(84 頁)523,723 円+68 巻 4 号(50 頁)311,740 円+69 巻 1 号(72 頁)448,905 円), J-STAGE 搭載業務委託費(23,100 円+29,700 円+16,500 円+26,400 円), 発送業務委託費(35,981 円+48,752 円+36,839 円+36,971 円), 通信費(56,306 円+62,671 円+56,398 円+57,046 円), 封筒作成費(44,275 円)
『図書館学会年報』の遡及的電子化費	1,650,000	1,593,044	96.5%	1,131,740	図書館学会年報 16～31 巻電子化費(358,844 円), 図書館学会年報 16～31 巻 J-STAGE アップロード費(1,234,200 円)
4　表彰事業費 学会賞等副賞・賞状作成費	406,000	302,190	74.4%	505,896	副賞:学会賞 200,000 円×1 件, 論文賞 100,000 円×1 件, 学会賞等の賞状ホルダー費用 2,190 円 発表論文集(2019 年度 2 冊)電子化委託費 44,000 円, 臨時シンポジウム機材借料 6,171 円, 臨時シンポジウム非会員パネリスト謝礼 20,000 円, 臨時シンポジウム非会員パネリスト交通費 1,880 円, 臨時シンポジウム事前打ち合わせ日当 8,000 円, 臨時シンポジウム会員パネリスト交通費 17,220 円
5　予備費	7,202,854	97,271	1.4%	119,874	
翌年度への繰越金	-	9,006,865	-	9,559,735	参考:2019 年度繰越金 5,961,409 円,　2020 年度繰越金 9,354,040 円
合計	17,423,399	17,111,845		16,587,146	
予備費または繰越金除く支出合計	10,220,545	8,104,980		7,027,411	

2022 年度　会計監査報告

会計監査の結果，予算に基づき会計が適正に執行され，帳簿記入が正確に行われ，決算報告書が適正に作成されていることを報告します。

2023 年 4 月 30 日　　監事　逸村　裕
2023 年 4 月 30 日　　監事　山本順一

第三号議案　2023 年度事業計画案

2023 年度事業計画案

1. 運営事業

(1)　定例（通信）総会の開催

投票締切日を 2023 年 6 月 30 日として定例（通信）総会を実施する。投票は電子（事前申請すれば

郵送も可）による。

(2)　理事会・常任理事会の開催

下記の予定で，理事会・常任理事会を開催する。

1)　理事会

第 1 回	2023 年 5 月 20 日（土）	明治大学（東京都千代田区）
第 2 回	2023 年 9 月 23 日（土）	オンライン開催

2)　常任理事会

第 1 回	2023 年 4 月 23 日（日）	オンライン開催
第 2 回	2023 年 7 月 9 日（日）	オンライン開催
第 3 回	2023 年 9 月 16 日（土）	オンライン開催
第 4 回	2023 年 11 月 25 日（土）	オンライン開催
第 5 回	2024 年 1 月 21 日（日）	オンライン開催

(3)　会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として，2023 年 10 月に愛知淑徳大学星が丘キャンパス（愛知県名古屋市）を会場として会員集会を開催する。

(4)　規程・内規等の改正・整備

規程・内規等に関する整備を進める。特に選挙管理に関する規程類の見直しを行う。

(5)　委員会の開催

下記の予定で，委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

1)　学会賞選考委員会　3 回　（オンライン開催）

2)　編集委員会　2 回　（オンライン開催）

3)　研究委員会　2 回　（オンライン開催）

4)　総務委員会　1 回　（オンライン開催）

5）図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ　2 回　（オンライン開催）

6）出版事業に関する検討ワーキンググループ　3 回（オンライン開催）

(6)　会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.193（2023 年 4 月），No.194（同年 6 月），No.195（同年 10 月），No.196（2024 年 2 月）を発行する（PDF 版メール配信および希望する会員への郵送，ならびに SOLTI への搭載）。

(7)　図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

シンポジウムの開催や報告書の作成を検討する。シンポジウムを 1 回開催予定。

(8)　学会広報の推進

学会サイトの管理・更新（会報・メールマガジンの掲載を含む），メールマガジンの発行などを進める。

(9)　事務局業務の一部委託

会員管理，会費管理，発送業務等，事務局業務の一部，また J-STAGE への登録・修正（削除）業務を 2022 年度に引き続き，株式会社ガリレオに委託する。そのほか事務局文書等の一部保管を株式会社カルチャージャパンに委託する。

(10)　事務局業務委託内容の見直し

事務局業務の効率化および事務局長の負担軽減という目的に添って委託業務を見直し，目的に沿わない業務については委託の廃止を検討する。

(11)　学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営，事業，会員サービスの向上等に関して，その功績が顕著であると認められる個人会員に，感謝状を贈呈する。

(12)　学生会員への支援

学生会員への支援として，昨年度に引き続き，会費を全額補助する。

(13)　学会創立 75 周年に向けての準備

2028 年の学会創立 75 周年に向けて，100 万円を内部で留保する。

2. 研究促進事業

(1)　第 71 回研究大会の開催

第 71 回日本図書館情報学会研究大会を 2023 年 10 月 7 日（土），8 日（日）に愛知淑徳大学星が丘キャンパス（愛知県名古屋市）にて開催する。

(2)　研究大会におけるシンポジウム開催

第 71 回研究大会 2 日目午後にシンポジウム（テーマは検討中）を開催する（一般公開の可否は検討中）。

(3)　2023 年度春季研究集会の開催

2023 年度春季研究集会を 2023 年 6 月 10 日（土）に帝京平成大学（東京都中野区）にて開催する。

(4)　研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために，個人会員が個人もしくはグループとして計画した研究に対し，研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

(5)　研究発表，研究発表促進のための助成

研究発表促進のために，春季研究集会または研究大会において第一発表者として研究発表（口頭，ポスター）を行う学生会員に対して交通費の一部補助を行う。

(6)　オンライン・チュートリアルセミナーの実施

2022 年度に引き続き，本年度も実施する。

(7) 過去の研究大会および研究集会の発表論文集の電子化

過去の研究大会および研究集会の発表論文集を段階的に PDF 化し，ウェブにて公開する。

3. 刊行事業

(1)　『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 69 巻第 2 号（2023 年 6 月），同第 3 号（同年 9 月），同第 4 号（同年 12 月），第 70 巻第 1 号（2024 年 3 月）を発行する（事務局で印刷版郵送，編集委員会で視覚障碍会員向け PDF 版をメール配信）。

(2)　J-STAGE による『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について，J-STAGE を通じて提供する。

(3) 『図書館情報学事典』の編集・刊行

校正，索引作成など編集作業を進め，年度内に刊行する。

(4) 『図書館学会年報』の遡及的電子化

『図書館学会年報』掲載論文（1969 年以前）の遡及的な電子化を行う。

(5) 出版事業の在り方の検討

本学会としての出版事業のあり方の検討に着手する。

4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

・正会員の優れた著作で 2021 年度もしくは 2022 年度に発表された単独著作を対象として学会賞を選考・授与する。

・『日本図書館情報学会誌』第 68 巻第 2 号から第 69 巻第 1 号までに掲載された論文を対象として論文賞を選考・授与する。

・個人会員（若手研究者）の優れた単独著作で『日本図書館情報学会誌』第 68 巻第 2 号から第 69 巻第 1 号までに掲載されたものを中心に奨励賞を選考・授与する。

(2) 優秀発表奨励賞の選考・授与

2023 年度春季研究集会ならびに第 71 回研究大会において，優れた口頭発表を行なった自己申告による個人会員（若手研究者）に優秀発表奨励賞を授与する。

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう，関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 関連の会議情報等の周知

図書館情報学関連の会議情報等を，学会のメールマガジンに掲載する。

<u>第四号議案　2023 年度予算案</u>

2023 年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	備考	
1　会費			
正会員	5,016,000	現会員 589 人×8,000 円+1 年未納分 14 件×8,000 円+2 年未納分 12 件×16,000 円	
学生会員	128,000	現会員 64 人×2,000 円	
団体会員	660,000	現会員 43 機関×15,000 円+1 年未納分 1 件×15,000 円	
賛助会員	100,000	現会員 1 機関･1 個人×50,000 円	
2　広告料	160,000	30,000 円×2 件, 25,000 円×4 件	
3　学会誌売上金	1,402,800	定期購読 12,000 円×0.7×92 セット	772,800
		個別購読 3,000 円×0.7×300 部	630,000
4　印税	677,531	わかる！図書館情報学シリーズ第 1 巻 1,800 円×10 部×0.1	1,800
		わかる！図書館情報学シリーズ第 2 巻 1,800 円×0 部×0.1	0
		わかる！図書館情報学シリーズ第 3 巻 1,800 円×10 部×0.1	1,800
		わかる！図書館情報学シリーズ第 4 巻 1,800 円×4 部×0.1	720

		わかる！図書館情報学シリーズ第 5 巻 1,800 円×10 部×0.1	1,800
		『図書館情報学用語辞典第 5 版』	171,411
		『図書館情報学事典』	500,000
5　春季研究集会収入	39,000	非会員参加費 3,000 円×13 名	39,000
6　雑収入	58	利息	58
7　前年度繰越金	9,006,865	＊参考:2020 年度 9,354,040 円　2021 年度 9,559,735 円	
合計	17,190,254		
	8,183,389	前年度繰越金を除いた金額	

(支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1　運営事業費			
理事会･常任理事会	233,180	交通費:　理事会 67,180 円(10 人分)×1 回	67,180
開催費		交通費:　常任理事会	0
		会議費	0
		宿泊費	0
		日当:　理事会　2,000 円×(18 人+25 人)	86,000
		日当:　常任理事会　2,000 円×8 人×5 回	80,000
会計監査実施費	66,140	交通費:　60,140 円(2 人分)×1 回	60,140
		日当:　2,000 円×3 人×1 回	6,000
委員会開催費			
研究委員会	41,500	交通費	0
		日当:　2,000 円×10 人×2 回	40,000
		通信費	1,500
編集委員会	100,000	交通費:	0
		日当:　2,000 円×10 人×2 回	40,000
		通信費	2,000
		宿泊費	0
		会議費	0
		消耗品費	30,000
		非会員査読謝礼:　7,000 円×4 人	28,000
学会賞選考委員会	20,000	交通費:	0
		日当:　6,000 円(3 人分)×2 回+8,000 円(4 人分)×1 回	20,000
		消耗品費	0

総務委員会	22,000	交通費	0
		日当： 2,000 円×6 人×1 回	12,000
		会議費	0
		サーバレンタル・ドメイン維持費	10,000
図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ	60,000	シンポジウム非会員パネリスト謝礼： 10,000 円×2 名×1 回	20,000
		交通費： 20,000 円（非会員パネリスト 2 名分）×1 回	20,000
		日当： 2,000 円×5 人×2 回	20,000
出版事業に関する検討ワーキンググループ	30,000	日当： 2,000 円×5 人×3 回	30,000
『図書館情報学事典』編集委員会	34,000	日当： 34,000 円（17 人分）×1 回	34,000
会報発行費	10,000	印刷費	4,000
		通信費	4,000
		消耗品費 （封筒，ラベル代金）	2,000
事務局運営費	1,701,130	消耗品費	13,000
		通信費	40,000
		事務局アルバイト交通費	4,320
		事務局会計補助アルバイト代	19,550
		業務委託費： 株式会社ガリレオ（12 ヶ月分）	1,008,000
		業務委託費： 株式会社ガリレオ通信総会システム使用料	66,000
		業務委託費： 封筒・文書印刷料	45,000
		業務委託費： 発送手数料	5,000
		業務委託費： 会費徴収手数料	55,000
		業務委託費： J-STAGE への会員登録・修正（削除）業務費	19,800
		業務委託費： 会員の個人情報保全管理費	229,460
		業務委託費： 事務局資料保管料	26,000
		振込手数料	35,000
		感謝状作成費	2,000
		会場校会長挨拶交通費等（春季研究集会，研究大会）	0
		会場校会長挨拶手土産（春季研究集会，研究大会）	0
		会場校会長挨拶日当（春季研究集会，研究大会）	0
		会合・研究集会等における Zoom 年間利用料	37,000

		常任理事会における連絡・打ち合わせのための slack 年間利用料	96,000
学生会員会費補助	128,000	会費補助: 学生会員:2,000 円×64 名	128,000
2 研究促進事業費			
研究大会開催費	300,000	案内発送費	100,000
		事務局支援拠出金	200,000
研究大会シンポジウム開催費	25,000	日当(事前打ち合わせ分): 2,000 円×6 名(委員 2 名, コーディネータ 1 名, 登壇者 3 名)×2 回	24,000
		通信費	1,000
春季研究集会開催費	300,000	消耗品費	30,000
		印刷費(発表論文集印刷)	140,000
		通信費	5,000
		会議費	5,000
		アルバイト料	120,000
研究助成費	750,000	研究助成金: 300,000 円×2 件	600,000
		学生会員研究発表助成金: 15,000 円×10 件	150,000
過去の研究大会等発表論文集の 電子化費	250,000	発表論文集(年間 2 冊)電子化費: 50,000 円×5 年分	250,000
—	—		
3 刊行事業費			
学会誌発行費	2,202,900	印刷費: 第 69 巻第 2 号～第 70 巻第 1 号(396,000 円×4 号)	1,584,000
		発送手数料: 55,000 円×4 回	220,000
		郵送費: 60,000 円×4 回	240,000
		封筒作成費: 角 3 封筒 2,700 部, PP 封筒(B5)1,000 部	50,000
		J-STAGE 搭載費: 3,630 円×30 本	108,900
『図書館学会年報』の遡及的電子化費	1,500,000	1 巻～15 巻の電子化に関わる業務委託費	1,500,000
4 表彰事業費			
学会賞等賞金	406,000	賞金(学会賞:200,000 円, 論文賞・奨励賞:各 100,000 円)	400,000

賞状作成費		賞状制作費：３枚	6,000
5　予備費	9,010,404	学会創立 75 周年基金としての留保	1,000,000
		その他	8,010,404
合計	17,190,254		

8,179,850　　予備費を除いた金額

3,539　　繰越金・予備費を除いた収支差

事業および会計に関する意見

2022 年度の監査において，逸村監事と山本監事より事業および会計に関する意見が寄せられました。理事会で取り扱いを検討した結果，会報に掲載し会員への周知を図ることと致しました。

意見書

会計監査については問題ないと判断しました。

事業監査につきましては一点申し上げます。

この数年，課題として取り上げられていますが，会員数の維持発展を中長期的に検討すべきと考えます。特に指摘するとすれば，「学生会員」について実態を調べてみるのは一つの策だと考えます。学生会員は次代の学会活動に重要な役割を果たすことと考えられま す。個人情報保護の観点も考慮しなくてはなりませんが，学生会員の実態，学生会員が学会に何を望んでいるかを調べることは必要ではないかと考えます。

以上

2023 年 5 月 1 日

逸村裕

意見書

◎会計事務については，業務委託先との情報のやり取り，金融機関を介した処理，および本会の役員会や委員会で発生した金銭データなど，錯綜する複雑怪奇？な現象を巧みに記録し，適正，公正に運営されていたとの心証を持ちました。

〇業務遂行についても，支障となっている問題点や課題はないとの認識を得ました。

しかし，3時間をかけて，ていねいに3人で検討し，議論をしたので，その足跡を残す意味で，若干，気が付いたことを申し述べておきます。

① これまで事務局の会計処理，文書事務などにつき，有能な大学院生のKさんを学生アルバイト単価で適宜雇い，補佐してもらっていました。あらためて念入りにチェックしなくても信頼できる結

果を残していたので，手戻りなく金井事務局長は関係事務を処理することができました。
しかし，彼女が大学院を単位取得退学となり，事務アルバイトに雇用できなくなりました。ふつうの学部学生ではKさんの代替要員は務まらず。金井事務局長には細心の注意をもって独力で，これまでKさんにお願いしていた作業をみずから行わなければならない状況がうまれそうです。
近隣の住民のなかに優れた事務能力をもち，比較的少額な賃金で手伝ってもらえる人材をみつけられなければ，事務局長の負担は倍加します。事務委託しているガリレオとは，事務処理の基準が異なり，肩代わりをさらに委託業務に加えることには無理があります。
喫緊の課題であることを指摘しておきます。

② ささやかなことですが，事務の公正性確保のためにひとこと。春季研究集会，秋の研究大会において，会員以外の人が当日参加されることがあります。その際，開催校の担当者が参加費を現地で徴収します。このとき，学会印をついた領収証は発行しているのですが，開催校事務局には個々の現金受取の証票は残されていません。公正な事務処理とするため，カーボンコピーが可能な領収書帳票を使用することが望まれます。市販のカーボンコピーが可能な領収書帳票を金井事務局長の方から提供されてもよいように思います。

③ ここ3年，コロナパンデミックによって，本学会の役員会や委員会は対面で行えず，オンラインで開催されることが多くなりました。役員会や委員会については，出席者の便宜もあり，これからも一定程度，オンライン方式が多用されると思います。しかし，会員の利益を考慮し，学生会員へのトラベルサポートや学会誌のPDF化などが行われましたが，会計的には黒字が積みあがる要因になりました。黒字額は1会計年度の収入規模を優に上回っており，繰越残高に含まれる余剰金については，周年事業その他，検討されるべき時期にあるかと思われます（一般的に，学会のようなボランティア組織では1会計年度収入額程度の繰越が適正，望ましいとされているようです）。

④ コロナパンデミックの間は，研究集会，研究大会はオンライン，ないしは対面とオンラインのハイブリッドで行われてきました。パンデミックの間に開催された研究集会，研究大会の参加者は通常の対面式オンリーのときの参加者を上回り，盛会でした。しかし，対面とオンラインのハイブリッドは学会事務方に大きな負担を強いることになり，組織的にみたときには問題があります。私見を述べさせてもらえば，事務方の人員と事務処理能力からすれば，対面方式１本で実施した方がよいように思います。学会の役割のひとつは‘同業者’の懇親，直接的情報交換にあります。

⑤ 図書館情報学という学問分野は図書館という現場を主要な研究対象としています。しかるに，この国では図書館の意義と役割に対して，欧米先進国ほどの正確な認識を政府はもたず，大学もしかり。一般社会人も図書館に馴染み，利用するという生活習慣は持ちません。デジタル化が社会全体に進行している欧米とは異なり，デジタルヒューマニティーズの振興も夢のまた夢です。そうは言いながらも，学会の守備範囲は狭い図書館情報学を踏み出して広げる必要があるように思います（これは，監査の際に逸村先生も言われていました）。活力ある学会，活性化した学会を目指すよう，お願いいたします。

2023年5月3日
やまもとじゅんいち

第 71 回（2023 年度）研究大会のご案内

研究委員会／第 71 回研究大会事務局

第 71 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

開催要領

日　程：　2023 年 10 月 7 日（土），8 日（日）
会　場：　愛知淑徳大学　星が丘キャンパス　5 号棟
事務局：　〒464-0025　愛知県長久手市片平二丁目 9
愛知淑徳大学　文学部　伊藤真理研究室内
日本図書館情報学会第 71 回研究大会事務局
Tel：0561-62-4111 (代表)（内線 2454）
E-Mail: jslis71@asu.aasa.ac.jp
参加費：　会員（正会員・学生会員），非会員の学生は無料，学生以外の非会員は 3,000 円
懇親会：　新型コロナウイルス感染症を考慮し，実施いたしません。

宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので，ご了承ください。
列車や宿泊場所の手配は，各人でお願いいたします。

プログラム（予定）

10 月 7 日（土）		10 月 8 日（日）	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-11:30	口頭発表
13:30-17:00	口頭発表	11:30-13:00	ポスター発表，昼食
		13:05-14:05	会員集会，学会賞等授与式
		14:15-16:55	シンポジウム
		16:55-17:05	閉会式

・ 大会 2 日目の昼に「ポスター発表」を実施します。発表申込と当日の参加をお願いいたします。
・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので，ぜひご参加ください。
・ 大会 2 日目のシンポジウムについては，「生成 AI 時代の図書館員のアイデンティティ（仮）」をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますが，シンポジウムのみ参加の方も事前申込が必要となります（参加申込フォームは後日，学会ウェブサイトで案内します）。

■ 発表募集要領

（1）応募条件：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合，第一発表者が正会員

または学生会員であること）

研究発表の申込は，申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は，研究発表を申し込むことはできません。発表を希望する方で，未入会の方は，　発表申込締切前の入会申込締切日となる 7 月 20 日（木）までに入会申込を行い，入会の承認通知が届いた後に，発表を申し込んでください。

(2) 発表形態と発表時間

① 口頭発表：1 件 30 分（発表時間 20 分，質疑応答 10 分）

② ポスター発表：1 セッション 90 分。このうち，発表者は指定された 30 分間，ポスター付近に立ち発表内容を適宜説明する必要があります。

注意：第一発表者として口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回申し込むことができます。ただし，同じ内容で口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回を行うことはできません。発表形態は，申込時に発表申込申請フォームで「口頭発表希望」「ポスター発表希望」のいずれかにチェックを入れてください。口頭発表とポスター発表を各 1 回申し込む場合は，それぞれに申請してください。

(3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も，発表申込，発表論文作成，発表，発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが，多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み，基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

(4) 申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上，申し込んでください。なお，受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。

(5) 申込締切：2023 年 8 月 7 日（月）24 時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します（受理の連絡は別途，メールにて通知します)。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合，トラブルの可能性がありますので，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで連絡してください。

(6) 発表論文の提出：発表申込が受理された場合には，A4 判で口頭発表は 4 枚，ポスター発表は 2 枚の発表論文を作成し，2023 年 9 月 7 日（木）までに原稿を研究委員会ウェブサイトに送っていただきます。なお，発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては，発表申込受理者に連絡します。

(7) 発表のための機材と資料等

① 口頭発表：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで問い合わせてください。当日の資料配布は，原則として認めていません。詳しくは，「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

② ポスター発表：ポスターのサイズは A0 縦です。資料配布は自由です。ノートパソコン等によるデモンストレーションが可能です。電源は利用できません。パソコンを置くための台を希望する場合は，申込時に発表申込申請フォームの備考欄に「ポスター発表用 PC 台希望」と記入してください。

(8) 優秀発表奨励賞

対象は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴 10 年以内）とします。授与のための審査を希望する者は，自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希

望」にチェック）してください。発表内容，発表技法の観点から，優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果，優れた口頭発表を行い，将来の活躍が期待される若手研究者（正会員，学生会員）に授与します。受賞者は，学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

(9) 交通費等一部補助

以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。

① 対象者：第一発表者として研究発表（口頭，ポスター）を行う学生会員

② 人数：希望者全員

③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として，研究集会開催校の最寄駅まで片道 300km 以上であることを基準とします。

④ 申請方法

学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ，自宅または通学する学校の最寄駅のうち，研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告してください。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後，1 週間以内に事務局から振り込みます。なお，支給した者に振込確認後，受領書の提出を求めます。

⑦ 補助に際してのルール

1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限ります。

2) 研究発表を取りやめた場合は支給しません。

3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために，他機関から補助を受けることを認めます。

■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ，発表を申し込んでください。

(1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。

(2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。

(3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表 1 回，ポスター発表 1 回申し込むことができる。

(4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。

(5) 口頭発表の登壇者は，原則として発表論文の第一著者とする。

(6) 発表論文の原稿は，発表内容を論文の形式で記述するものとする。

(7) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際，本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。

(8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は，発表を取り下げたものとみなす。

(9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル，発表者，発表内容，発表スケジュール)の変更は原則として認めない。

(10) 発表当日の資料配布は，原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は，発表当日の

1 週間前までに研究委員会宛に，資料に配布の理由を添えて申請し，許諾を得る。資料配布が認められた場合は，印刷・配布・残部回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては，資料配布は自由とする。

■ 発表者への諸注意

口頭発表者

(1) 発表会場へは遅くとも，セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。

(2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また，セッションを円滑に進行するため，発表者は会場前方に着席してください。

(3) 本学会発表では，原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は，発表申込申請フォームの備考欄に＜PC のつなぎかえの希望＞について，必ず明記してください。事前申請を行わなかった場合，他の発表者の不利益になる可能性があるため，持ち込み PC のつなぎかえはできません。

ポスター発表者

(1) ポスターは，セッションの始まる 10 分前までに掲示してください。指定した時間までにポスターを貼付できない場合は，発表を辞退したものとみなします。

(2) 掲示するための用品は事務局が用意したものを使用してください。

(3) セッション終了後，閉会式までに掲示を撤去してください。

(4) セッション中，発表者は，指定された時間帯にポスターの前に立ち，参加者に研究内容の説明ならびに質問への回答を行ってください。

2023 年度研究助成の決定

2023年度の研究助成に2件の応募があり，研究委員会にて審議いたしました。

審査は，例年の手順・方法を踏襲し，あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して，助成対象を決定しました。評価は，申請者が特定されないよう，氏名等個人が特定される情報を伏せて，申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して，(1) 研究目的の明確さ，(2) 研究の独創性，(3) 遂行可能性，(4) 成果の公表可能性，(5) 申請金額の妥当性，(6) 研究組織の適切性，の6 点を参考に，5 段階で総合点をつけ，総合点の平均が3 点以上を助成の最低基準としたうえで，議論の結果，下記の1件を助成対象としました。

（研究委員会）

研究代表者：橋詰秋子（実践女子大学短期大学部）

研究題目：効果的な目録教授法の開発のための基礎的研究

助成額：300,000円

役員会等の記録

2023 年度第 1 回常任理事会（開催記録）

日時：2023 年 4 月 23 日（土）13:00～15:00

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者：岸田・三浦・浅石・大場・金井・小山・須賀・呑海

1. 2023 年度第 1 回理事会の議題整理
2. 2022 年度事業報告および決算報告，2023 年度事業計画(案)および予算案の検討
3. その他

2023 年度第 1 回理事会（議事抄録）

日時：2023 年 5 月 20 日（土）13:00～15:00

場所：明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー19 階共同実習室２

出席者：岸田，三浦，金井，小山，浅石，須賀，呑海，大場，青柳，安形輝，池内淳，池内有，今井，宇陀，河村，庭井，松林

委任状提出：安形麻，池谷，大谷，小野，佐藤，中村　　列席者：山本

以下カッコ内は報告者名

・会長指名の常任理事として金井喜一郎　（相模女子大学）が指名された。

Ⅰ 報告事項

1. 2023 年度の会員・会費状況（金井）

計 696　（正会員 589 学生会員 63 団体会員 42 賛助会員 2）

2. その他

・常任理事会議事録確認（岸田）

選挙管理委員長として越塚美加（学習院女子大学）を指名する旨を追加記載した。

Ⅱ 協議事項

1. 定例総会（通信）の議案整理

・2022 年度事業報告・監査報告（岸田・山本）

・2022 年度会計報告・監査報告（金井・山本）

・2023 年度事業計画（案）（岸田）

原案が承認された。なお特記事項として，図書館情報学教育 WG を設置し呑海を担当とすること，出版事業 WG の設置し須賀を担当とすることの説明があった。

・2023 年度予算（案）（金井）

理事会のための交通費および発表論文集の電子化費を計上した修正案が承認された。

Ⅲ　懇談事項

1. 学会誌 JST 公開のエンバーゴ期間を廃止する可能性について
安形輝を主査とする検討 WG を起ち上げ，秋の会員集会で意見を聴取し一年ほどの期間をかけて検討することとなった。

委員会・事務局より

『図書館情報学事典』について

2023 年 7 月の刊行に向け，5 月下旬に念校作業に入りました。全 10 部門，287 項目を収載し，A5 版 760 ページ，予価 22,000 円の見込みです。会員向けに特価での頒布を行いますが，この件は改めてご案内いたします。

（『図書館情報学事典』編集委員会）

臨時シンポジウム「大学図書館員の専門性とは」の映像・資料公開

2023 年 3 月 4 日(土)に開催された標記シンポジウムについて，5 月 15 日～6 月 30 日の期間，記録映像ならびに発表資料を学会ウェブサイト（https://jslis.jp/）で公開しています。当日ご参加いただけなかった皆さまにも，ぜひご覧いただければ幸いです。

（総務委員会）

J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには，J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては，購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号（4 桁の数字）で，パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には，事務局（office@jslis.jp）までお問い合わせください。

（事務局）

2023 年度の会費納入について

2023 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入予定です。クレジットカードでの支払についても 6 月号の学会誌発送と同タイミングで可能となります。今しばらくお待ち下さい。

未納会費の納入について

2022 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2021 年度までの会費を未納の場合は，2022 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお，会費を 3 年滞納した会員（学生会員は 2 年）については，その年度末（3 月 31 日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また，会費を 1 年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は，機関誌の配付を一時停止します。

そのほか，学生会員で 2023 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については，判明後，すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店　口座番号＝当座 0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は，下記のサイトへログイン後，クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS

ログイン後，「オンライン決済へ進む」を押していただき，クレジットカード情報をご入力いただき，「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所，電話番号，所属先，メールアドレス等の変更については，学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか，「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき，事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については，(1) 正会員から学生会員への変更の場合，当該年度の 4 月 20 日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても，その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合，随時，事務局で申請を受け付けます。ただし，受付の時期によっては，正会員の権利の行使が制限されることがありますので，ご注意ください。また，受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお，退会については特に書式はありませんので，電子メールにて，退会理由を併記のうえ，事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年 3 月 20 日までにお申し出がない場合，翌年度末での退会となり，1 年分の会費請求が発生しますのでご注意下さい。

（事務局）

学会受領資料

（事務局）

紙幅の都合により，図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

- 小林 昌樹 著『調べる技術：国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』皓星社，2022
- 長尾 宗典 著『帝国図書館：近代日本の「知」の物語』中央公論新社，2023

・　縄田 雄二，小山 憲司 編『グローバル文化史の試み』中央大学出版部，2023

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）